

SSAB、新しく改良された Strenx 1100 MC (ストレンクス 1100MC) を発売

Strenx™ 1100 MC (ストレンクス 1100MC) 超高強度ストリップ鋼は高度なリフト機器メーカーのニーズを満たします。

SSAB は、1100 MPa ストリップ鋼を導入した初のメーカーであり、新たな革新的デザインソリューションの実現を可能にしました。新世代の Strenx 1100 MC は性能が一段と向上し、板厚 3~8mm で展開します。

強度に優れ、軽量で、コスト効率のよい、魅力的なクレーンのデザインのための鋼材

Strenx 1100 MC はより軽量で、高い性能をもち、クレーンオペレータにとってコスト効率に優れたテレスコピッククレーンやナックルブームクレーンをクレーンメーカーが設計できるようにする新たなチャンスをもたらします。

Strenx 1100 MC は入念に管理された特性、向上した伸び率、衝撃じん性、そして作業場での加工性が良く、一般的な 900 MPa の鋼材から 1100 MPa レベルの鋼材への確実な移行を保証します。メーカーは完成したクレーンが、クレーンオペレータにとって、従来よりもパフォーマンスの点でもコスト効率の点でもより優れたものになるという確信を持てます。

Strenx 1100 MC は非常に優れた表面品質を持ちます。滑らかな表面は鋼材の耐疲労性を向上させます。また、塗装工程に要する時間を短縮し、見た目も美しくなり、機器をクリーンに保ちやすくなります。

公差の保証

すべての SSAB 鋼種と同様に、Strenx 1100 MC は、非常に清浄度の高い鋼材です。生産工程で幾度も検査を行い、機械的性質と寸法についての厳しい品質要件を満たすことを確認しています。

板厚の薄い鋼材で設計する際には、板厚の公差が非常に重要となります。Strenx 1100 MC は、EN 10 051 規格に比べて、非常に狭い板厚公差で保証しています。

板厚の精度は、ブームの強度とたわみの計算に欠かせません。最も薄い鋼材が使用される先端の幅の狭いブーム部分の計算では特に重要です。板厚の精度が高いということは、クレーンの総重量の計算やクレーンを動したり、回転させるときの慣性力の決定にも非常に重要です。

SSAB が用いる高度なレベリングのおかげで Strenx 1100 MC は指定の長さにカットした鋼板について平坦度は 3mm/m を保証します。

SSAB によるアップグレードサポート

SSAB は鋼材の設計と製造方法、材料の選択、技術的計算、作業面における推奨事項などにおいて共同開発プロジェクトを通してお客様を常にサポートします。

Strenx 1100 MC の性能を最大限に活用する方法についての詳細はこちらまでお問い合わせください :

Panu Pitkänen

Head of Product Group – Structural Steels

SSAB Special Steels

Tel. +358 20 592 9324

[For pictures, please visit SSAB's Media bank](#)

www.ssab.com

SSAB は、北欧・米国を拠点とする鉄鋼メーカーです。より強く、より軽く、より持続可能な世界の実現を旨として、SSAB はお客様との密接な協力のもとで開発した製品を提供しています。SSAB は、50 力国以上に従業員を擁し、スウェーデン、フィンランド、米国で製造施設を運営しています。SSAB は、ストックホルムのナスダック OMX ノルディック証券取引所に上場しており、現在ナスダック OMX ヘルシンキに二部上場しています。